



スクリーンに映し出された「洞爺湖物語」の  
映像の前で、ピアノを弾く太田さん(左)  
田中さん

**【洞爺湖】**洞爺湖温泉近くの公共施設やJR洞爺駅待合室に、湖畔の風景や動植物の映像とともに美しいピアノの旋律が終日流れている。胆振管内洞爺湖町の写真家田中正文さん(51)と伊達市のピアニスト太田亞紀子さん(30)が作ったDVD「洞爺湖物語」だ。自然の神秘さが伝わってくる作品で、住民の心が癒やされている。

(升田一憲)

## 地元の写真家、ピアニストがDVD

映像は朝日の差し込む湖底や湖面を滑走して子どもに泳ぎ方を教えるカルガモ、魚を狙うキタキツネなど洞爺湖周辺で見られる日常風景だ。ゆつたりと、ときには力強い鍵盤の響きが画面と重なる。

撮影者の田中さんが映像を解説し、太田さんがピアノを弾く演奏会を洞爺湖周辺で月1、2回開く。「こんなに湖が美しかったとは」「湖をもっと大切に使わないとなれ」。40分間、画面にくぎ付けになつた観客の反応は上々だ。

2人は2009年5月、太田さんのピアノ演奏会の終了後、共通の知人を通じて知り合つた。偶然にも太田さんは数日前、飲食店にあつた田中さんの写真集を見ていた。話が弾み、田中の撮りためた映像の上映会をすることになった。

1カ月後、知人宅でスクリー

ンに映し出された映像を見た太

# 洞爺湖の美 目で耳で

田さんは、ピアノを即興で弾き始めた。「自然に手が動きだし、曲が次々と湧き出る感じでした」と太田さんは興奮ぎみに振り返る。太田さんは当時、介護福祉士の傍ら、福祉施設などの慰問でピアノを演奏。国内外で撮影旅行の経験豊富な田中さんは、偶然立ち寄った洞爺湖を気に入り、写真撮影に熱中していました。意気投合した2人はDVDを作ることにした。

「太古の人はどんな思いでこの風景を見たのか」「命の貴い営みを伝えたい」。2人は何度も意見を交わし、編集作業は連日、深夜まで続いた。2カ月後、「育ちゆく花」「いのちの祭」など10曲が完成。サンプル版として千枚を製作した。

同管内壯瞥町の温泉旅館「かわなみ」では、2人の演奏会も時折行う。川南恵美子副社長(50)は「宿泊客に洞爺湖の魅力を知ってほしい」と話す。

DVDを見た住民からは「とても癒やされた。自分の告別式で流してほしい」との声も。田中さんは「地元の人も知らない洞爺湖の美しさを再発見する機会になれば」と話す。DVDは6月にも販売される。問い合わせは田中さん☎090・153